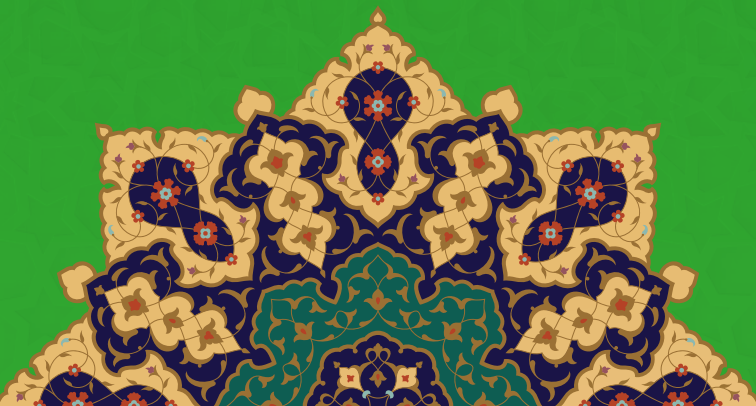




預言者 ムハンマド

(彼の上に平安あれ)







預言者ムハンマド (彼の上に平安あれ)



ムハンマドとは？

西暦571年、預言者アブラハムの息子イシュマエルの流れをくむ高貴な一族に、ひとりの男の子が誕生しました。その子は「称賛される者」を意味するムハンマドという名を与えられました。幼い頃に孤児となった経験から、自分同様の孤児たちや貧しい人々の置かれた苦境をよくわかっていました。ムハンマドは善良な性格の若者に成長しました。全能の神は、「ジャーヒリーヤ（無知の時代）」と呼ばれる当時のアラブにまん延していた飲酒や淫行、強奪といった風潮の悪から彼を守りました。彼に自分の大切なものを預けた人々は、彼をアル・アミーーンと呼びました。それは「信頼に足る者」を意味します。イスラムが確

立する以前から、ムハンマドは、彼の社会が抱える問題に関心を持ち、異国からの交易商人に対する取引上の不正を防ぐなど、社会に美德が広まることを求めています。

預言者として

40歳のとき、彼はアッラーから大天使ガブリエルによって届けられた最初の啓示を受け取りました。啓示された最初のメッセージとは、「読みなさい(注：あるいは、「詠みなさい」とも)、あなたの主である創造者の名において」でした。このようにイスラムは、その始まりにおいてすでに知識の獲得と普及に重きを置いていたのです。そしてこの生き方を教えるために、ムハンマドが遣わされたのでした。

その後23年間にわたり、彼は啓示を受け取り続けました。アッラーにより「クルアーン」と名付けられたこのメッセージは、すべての人類に向けられています。メッセージの基本にあるのは、創造者であるアッラーの唯一性、天使たち、預言者たち、諸啓典、審判の日、あまねく被造物に対して定められたアッラーの定命を信じることです。

預言者としての最初の13年間、彼は人々に対し、偶像崇拜を放棄するよう呼びかけ、唯一の神を信仰する共同体の一員となるよう招きました。最初の信仰者は、預言者の妻であり、ムスリムの「母」として尊敬を集めるハディースでした。彼がこのメッセージを伝え、不幸にもメッカの住民たちは、それを彼らの生き方や偶像崇拜に対する脅威であるとみな

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ



وَمَا أَرْسَلْنَاكَ إِلَّا رَحْمَةً لِّلْعَالَمِينَ





しました。彼が弱者の権利を訴えたとき、それは強者を激怒させることになりました。しかしそれは、彼が弱者や抑圧された者の擁護者となったことを意味しました。

彼にメッセージを放棄させるために、賄賂、拷問、追放といったあらゆる種類の策略が実行されました。しかしそうした弾圧にもかかわらず、彼と信仰を共にした者たちは、誰ひとりとしてイスラムを放棄することはありませんでした。西暦622年、ムハンマドは、メッカの北に位置するメディナに移住するよう神から命じられました。これは非常に重要な出来事であり、イスラム暦はこの移住(ヒジュラ)をもって元年としています。ムスリムたちはメディナに、まとまりのある社会を築きました。あらゆる宗教や部族、人種を背景とした多くの人々がイスラムの教えを受け入れ、あらゆる地域の人々が預言者の卓越した性格とそのやさしさの影響を受けることになりました。

ヒジュラから10年後、預言者ムハンマドは10,000の軍勢を率いてメッカに帰還しました。流血も、復讐がなされることもありませんでした。彼は非常に礼儀正しく、駱駝に騎乗しながらお辞儀をしつつメッカに入ったため、その額はほとんど駱駝の首にふれるほどであったと伝えられています。市街に入ると、彼はその住民たちにこう語りかけました。「預言者ヨセフが兄弟たちに告げたことを、今日あなたがたに告げましょう。『今日、あなたがたに咎めはない。アッラーがあなたがたを赦したまいますように。あなたがたは、自由の身』と」。



۱۴۲۷

翌年、巡礼の季節が訪れると、彼は別れの説教をし、その中でこう語りました。

「私たちは今、無知の時代の法に背を向ける。今後は、利子に関わるあらゆる行いを捨て去らねばならない。必要なのは公正さであり、いかなる不公正もあってはならない。黒い者も白い者も、富める者も貧しい者も、アラブも非アラブも、すべての人は平等である。私たちを互いに区別するものがあるとすれば、それはただ信仰の深さによってのみ。偶像に対する崇拜はもはや存在しない。……」

اللَّهُ أَوْلَىٰ لَكَ الْذِي رَاجَتْحَنَ اللَّهُ قُلُوبَهُمْ لِلنَّبِيِّ
وَاجْرُ عَظِيمٍ





إِنَّا الَّذِينَ يَغُضُّونَ أَصْوَاتَهُمْ عِنْدَ رَسُولِ
لَهُمْ مَغْفِرَةٌ

このとき、以下の聖句が啓示されました。「この
日、われはあなたがたのために、あなたがたの宗教を
完成し、あなたがたへのわれの恩情をまっとうし、あ
なたがたのための宗教としてイスラムを選んだ。……」

(クルアーン5章3節)

632年、預言者ムハンマドはこの世を去り、その亡
骸は現在のサウジアラビアに埋葬されました。

彼の美德



彼は非常に謙虚で、決して卑劣な言葉を口にする
ことはしませんでした。いかがわしい言葉を耳にし
たとき、彼は無言でその場を立ち去ることによって非
難を表しました。決して声を荒げることもなく、悪事
をはたらかれたからといって、別の悪事でやり返す
こともしませんでした。彼を抑圧した人々に対し、決
して復讐することはありませんでした。彼は決して神
の戒めを破ることはしませんでした。二つの選択肢
に直面したときは、神の意志に反することのない限
り、常により簡単な方の道を選びました。おだやかで
控えめな人物であり、料理や掃除といった家事もす
すんで引き受けました。自分に関わりのある範囲の
出来事のみを語り、人々にはやさしく接したため、
周囲の人々は彼と共にいることに安心をおぼえたも
のでした。何に対しても、誰に対しても寛大でした。
非常にバランスのとれた性格の持ち主であり、もし
誰かと同席していたなら、客が席を立つ前に自分が
席を立つといったことは決してしませんでした。誰か
に苦しめられたとしても、彼は辛抱強く耐えました。
誰もが、彼と共に過ごすことを喜びとしていました。
彼は 非常に愛情深く、決して荒々しくも、また貪欲
でもありませんでした。そして相応の理由がない限
り、ほめそやされることを良しとはしませんでした。

社会の改革



預言者ムハンマドは、彼の社会に多くの変化をもたらしました。

- 彼は女性の平等な権利の擁護者でした。彼は妻に対する夫の「所有権」を廃止しました。女性の財産権と相続権を確立し、また結婚の際には女性が自分の意志によって選択もしくは拒否する権利を擁護しました。
- 彼はまた、孤児たちの保護者でもありました。彼らにふさわしい待遇のあり方を確立したのです。彼が繰り返し口にしていた言葉とは、「最も良い家とは、孤児が大切に世話をされる家である。最も悪い家とは、孤児が虐待される家である」でした。孤児が相続すべき財産の悪用を禁じ、彼らが成人したときに、彼らが受け取るべき遺産を正しく確実に受け取れるようにしました。
- 彼は環境の保護者にもなりました。旅の途上で野営をした際には、出立前に仲間たちの中から、必ず何名かの男性にその場のごみ拾いを命じるのが習慣となっていました。

- あらゆる動物に荷を積み過ぎることのないよう命じました。彼はすべての生きものに対し、慈悲深く接していました。
- 信仰者たちに、彼らを取り囲む自然を愛し、尊重するよう教えました。たとえそれが終末の日であろうと、木を植え、その世話をするよう説きました。戦時下において自然を破壊することを禁じ、とりわけ木々を大切にするよう命じました。
- 社会を健全に保つことに多くの関心を寄せていました。飲酒や麻薬、賭博といったものへの依存から人々を助け、また奴隷の解放のために尽くしました。





DİYANET İŞLERİ BAŞKANLIĞI
トルコ共和国 宗教庁
THE PRESIDENCY OF RELIGIOUS AFFAIRS
رئاسة الشؤون الدينية



TOKYO CAMİİ
東京ジャーミイ
TOKYO MOSQUE
جامع طوكيو

151-0065 東京都渋谷区大山町 1-19
03-5790-0760
www.tokyocamii.org